

現代政治制度分析 I

科目ナンバリング POL-303
選択必修 2単位

川人 貞史

1. 授業の概要(ねらい)

政治学は、政治現象を理解し、説明し、できれば予測する学問です。この講義では、政治現象を政治制度の制約の下で政治的アクターたちが相互に影響しあう結果として生じるものとして捉えていきます。そして、基本的な問いである「政治とは何か」から始めて、民主政治における重要な政治制度の分析へと進めていきます。具体的には、政治を分析するための概念として影響力を記述し、解釈し、説明し、評価するにはどうするか、政治をシステムとして捉えたとき、どのような共通性と違いがあるか、民主的な政治制度を分析するための概念としてのポリアーキーは非ポリアーキーとどのように異なるか、また、なぜ異なるか、政治と人間のかかわり方、政治における価値の問題、社会に働きかけてよりよい状態を作るための政策の選択のあり方などについて、概説します。

2. 授業の到達目標

- ①自ら、政治学の概念を理解し、概念を使って思考することができるようになること。
- ②現実の政治現象を政治学的に理解することができるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

授業の各回における出席および随時実施するミニ課題の回答、LMSにアップされた授業スライドの既読マーク(あわせて50%)、授業内試験(50%)にもとついて評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

R.A.ダール 『現代政治分析』 岩波書店、1999年、2012年
その他は授業で適宜指示します。

5. 準備学修の内容

講義前に、テキストの該当箇所を読んで予習してきてください。事前に読んでわからなかったことは積極的に質問するようにしてください。

講義後には、とったノートを読み返し、自分のまわりの政治現象について政治学的な考え方を応用してみましょう。

テキストを読まなければ、講義に出席しても、期末の授業内試験を受験しても、よい評価で単位を取得することは、むずかしいです。

6. その他履修上の注意事項

秋学期の現代政治制度分析Ⅱも履修してください。

自分で自ら考える習慣をつけるようにして、自分が日頃ニュースやネットなどで触れる政治について疑問を持つようにしてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 政治とは何か
- 【第3回】 影響力1
- 【第4回】 影響力2
- 【第5回】 影響力3
- 【第6回】 政治システム1
- 【第7回】 政治システム2
- 【第8回】 民主的手続きの基準
- 【第9回】 民主政治の起源
- 【第10回】 ポリアーキーと非ポリアーキー1
- 【第11回】 ポリアーキーと非ポリアーキー2
- 【第12回】 政治的人間
- 【第13回】 政治的評価
- 【第14回】 政策の選択
- 【第15回】 まとめと授業内試験